

Disclosure

情報開示

ANNUAL REPORT

2024

アニュアルレポート



社会福祉法人光仁会富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

KOUJINKAI TOMITAKENOSATO ANNUAL REPORT 2024

CONTENTS

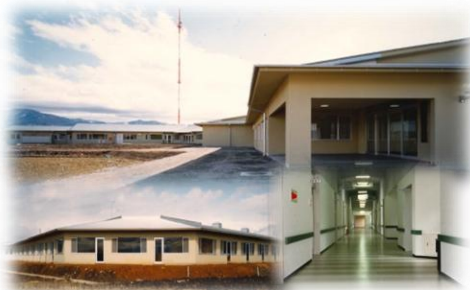
法人沿革	Corporation history	… 1
軌跡を辿る	Trace the trajectory	… 2
さらなるお客さま満足のために	For further customer satisfaction	… 3
法人概要	Corporation profile	… 4
経営理念	Management philosophy	… 5
倫理行動規範	Code of business conduct and ethics	… 5
持続可能な開発目標	SDGs (Sustainable Development Goals)	… 6
ニュース & トピックス	News & Topics	… 7
1	取り巻くリスクと機会への対応	Responding to risks and opportunities … 7
2	働きやすい職場環境整備	Comfortable work environment … 14
3	サービス品質の維持・向上	Maintaining and improving service quality … 15
4	人材育成	Human resource development … 16
5	地域社会とのつながり	Connection with the local community … 18
6	地域貢献	Community contribution … 19
7	危機管理体制	Crisis management system … 20
8	看取り介護	End-of-Life care … 23
データ	DATA	… 26
財務ハイライト	Financial highlights	… 29
公正な事業慣行	Fair business practices	… 30
各事業所のトピックス	Topics of each business office	… 32

法人沿革 Corporation history

起源 Origin

1986年（昭和61年）に「社会福祉法人光仁会富竹の里」は誕生しました。当時は、戦後の医療技術の進歩、食生活の向上、国民皆保険制度の確立などにより、人生80年時代を迎え、世の中は高齢化社会の時代。長野市においても高齢者数は約3万6千人と人口の約10%を超え、認知症や寝たきり高齢者の介護を真剣に考えなければならぬときでした。このような状況に鑑み、特別養護老人ホーム富竹の里を建設、運営し、社会的要請にこたえ、老人福祉の向上に寄与することを目的として法人が設立されました。

CHAPTER I 1986～



社会福祉法人光仁会富竹の里の設立

特別養護老人ホーム富竹の里、
富竹の里ショートステイホームの開設

CHAPTER II 1990～



在宅福祉事業への飛躍

デイサービスセンター、
ホームヘルプサービスの開始
(水戸黄門様出演者御一行様来訪 1993.3)

CHAPTER III 2000～



介護保険制度施行

地域密着型施設、
地域包括支援センターの開設
富竹の里デイサービスセンターの新築移転

CHAPTER IV 2016～



地域包括ケアに向けて

地域福祉の発展に全力をささげていただ
いた方々への感謝の念を捧げつつ、新た
な時代に向かって歩み始めています。

軌跡を辿る Trace the trajectory

創設期	昭和	58年	4月	老人ホーム建設構想検討開始		
		60年	4月	法人設立準備委員会発足		
		61年	7月	社会福祉法人光仁会富竹の里設立認可		
			8月	特別養護老人ホーム富竹の里建設着工		
		62年	4月	特別養護老人ホーム富竹の里開所（定員50名）		
			7月	短期保護事業開始（定員4名）		
		63年	2月	在宅寝たきり老人入浴サービス事業開始		
4月	社会福祉士及び介護福祉士方施行					
推進期	平成	2年	4月	長野市古里デイサービスセンター開所		
			6月	社会福祉関係8法の改正		
		3年	4月	短期保護事業定員2名増（6名） 「家庭奉仕員」が「ホームヘルパー」に改称		
			5年	5月	介護福祉機器貸付事業開始	
		6年	8月	富竹クリニック開院		
		7年	12月	短期保護事業定員2名増（8名）		
			9年	10月	長野市在宅介護支援センター富竹の里開所	
		11月		富竹の里家族会結成		
		10年	6月	富竹の里ホームヘルプセンター開所		
		充実期	平成	12年	2月	短期保護事業定員6名増（14名） 機能訓練室等を準個室へ改修 長野市から古里デイサービスセンター無償譲渡
9月	特別養護老人ホーム富竹の里定員2名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員2名減（12名） 富竹の里デイサービスセンター定員5名増（25名）					
13年	4月			苦情解決相談委員設置		
	6月			評議員会制度導入		
14年	6月			富竹の里デイサービスセンター定員5名増（30名）		
	11月			富竹の里デイサービスセンターホール増設		
16年	4月			富竹の里和み開所（定員20名） 特別養護老人ホーム富竹の里定員4名減（48名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名増（16名）		
	6月			富竹の里デイサービスセンター定員3名増（33名）		
変革期	平成			18年	4月	高齢者虐待防止法制定 富竹の里介護予防（訪問、通所、短期）3事業所指定
					20年	4月
		20年	10月	介護付有料老人ホーム上松ホーム開所（定員15名）		
			23年	4月	富竹の里、富竹の里和み スプリングラー運用開始	
		24年	6月	介護付有料老人ホーム上松ホーム定員9名増（24名）		
		25年	10月	長野市地域包括支援センター富竹の里開所		
			27年	3月	富竹の里デイサービスセンター移転新築	
		7月		介護予防事業（生活らくかる運動塾）開始		
		28年	1月	旧デイサービスセンターを富竹の里いきいきセンターへ名称変更		
			4月	社会福祉法改正		
		28年	10月	富竹の里デイサービスセンター定員2名増（35名）		
			29年	1月	通所型基準緩和サービス指定（定員15名）	
		30年	4月	富竹の里大規模改修工事・多床室プライバシー保護改修工事竣工 介護予防（通所、訪問）が長野市の実施する総合事業へ移行		
		令和	1年	12月	富竹の里定員4名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名減（12名）	
				令和	3年	9月
		令和	4年	3月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和サービス廃止	
		令和	4年	7月	富竹の里ホームヘルプセンター廃止	
		令和	6年	11月	富竹の里デイサービスセンター日曜日休業	
				富竹の里富竹の里看取り空間整備工事竣工		

さらなるお客さま満足のために For further customer satisfaction

特別養護老人ホーム富竹の里

富竹の里ショートステイホーム



**特別養護老人ホーム富竹の里は、4人部屋に間仕切りの建具を設置し、
プライバシーに配慮された施設です。
個室の特養より、低額な料金でご利用いただけます。
より一層、皆様のお役に立てる施設を目指します。**



地域を支える社会福祉事業を実践します
Social welfare service to support communities

法人概要 Corporation profile

法人名	社会福祉法人光仁会富竹の里（こうじんかいとみたけのさと）
所在地	〒381-0006 長野県長野市大字富竹字堰下1621番地（法人登記） TEL（026）296-7383（代） FAX（026）296-7384
設立	1986年（昭和61年）8月28日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
事業内容	社会福祉事業
主な事業	【第一種社会福祉事業】 ・特別養護老人ホーム事業 【第二種社会福祉事業】 ・老人短期入所事業 ・老人デイサービス事業 【公益事業】 ・居宅介護支援事業 ・有料老人ホーム上松ホームを経営する事業 ・特定施設入居者生活介護事業 ・長野市地域包括支援センター事業 ・介護保険法に基づく第一号通所事業

特別養護老人ホーム富竹の里

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

特別養護老人ホーム富竹の里和み

TEL026-296-7705 FAX026-296-7384

介護付有料老人ホーム上松ホーム

TEL026-237-1660 FAX026-237-1661

長野市地域包括支援センター富竹の里

TEL026-295-7780 FAX026-296-8025

富竹の里ショートステイホーム

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

富竹の里デイサービスセンター

TEL026-296-2867 FAX026-296-7384

光仁会富竹の里介護支援センター

TEL026-296-8004 FAX026-296-7384



経営理念 Management Philosophy

私達は、

地域に開かれた信頼される施設づくりを目指します。

利用者の人権を尊重し、明るく健康的でやすらぎのあるサービスの提供を目指します。



光仁会の「**K**」は「**光**」を意味し、富竹の里の「**T**」は「**人**」を意味しています。光仁会の光（羅針盤）が、人（ご利用者、ご家族、地域住民、職員）の心に届く暖かい光（かがやき）を射しています。また、人の足元をてらし道筋を示しています。光仁会の名称は、「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」という意味です。

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics

サービスに関すること

- すべての方に対し、平等で公平な介護サービスに努めます。
- 思いやりをもって、私たち一人ひとりができることを精一杯行います。
- 常に自己研鑽に励み、根拠に基づいた安全で効率的な介護サービスに努めます。
- 専門職として高い倫理観を持って、職務に専念します。

ご利用者の保護等に関すること

- 人権・権利を尊重します。
- 知り得た事柄の守秘義務を厳守し、個人情報適切に取り扱い保護します。
- 原則として身体拘束を行いません。
- 相談苦情は、真摯に受止め、迅速・丁寧・公正に対応します。

チームワークに関すること

- 多様性を尊重し、相手の身になって、相手が不快・不安となる言動を慎みます。
- 簡潔で明確な言い方で相手に伝えます。
- 確認・連絡・報告を徹底します。
- 社会・社内のルールを守ります。
- 知識やアイデアを共有して、お互いの成長を目指します。

環境に関すること

- 省資源・省エネルギー活動を推進します。
- 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の基本行動により、業務の効率化・質の維持向上・安全管理・教育訓練等の推進に努めます。

持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)



“SDGsと富竹の里” 持続可能な開発目標



SDGsとは、
すべての人たちが幸福に暮らせるための
世界共通の目標であり、
光仁会富竹の里の思いと同じです。
新たな価値観で中期経営計画を進めます。

光仁会富竹の里（私たち）の5つの思い

- 【使命】
- 社会的要請にこたえる
 - 福祉の向上に寄与する
- 【理念】
- 地域に開かれ信頼される
 - 人権の尊重
 - 明るく健康的で安らぎを
- 光仁会とは「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」

光仁会富竹の里の5つの使命に重なる「SDGs17」の目標

3	4	8	11	17
【国連の目標】				
すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	働きがいも経済成長も	住み続けられるまちづくりを	パートナーシップで目標を達成しよう
【富竹の里の思い】				
明るく健康的で安らぎを	地域に開かれ信頼される	社会的要請にこたえる	福祉の向上に寄与する	互いに慈しみあう
【富竹の里が推進していく活動例】				
☐ 医療法人と連携した地域貢献活動 ☐ サービスの質の向上 ☐ 新たな福祉医療体制	☐ 研修・研究発表・資格取得等の支援 ☐ 環境改善できる職場 ☐ 関係機関と連携 ☐ 地域への教育・学習・相談支援	☐ 健康経営 ☐ 地域の雇用に貢献 ☐ 働きやすい職場環境 ☐ くるみん認定	☐ 地域共生社会・公益的な取り組み ☐ 非常災害対策	☐ 行政・他団体・住民との連携 ☐ 目標やターゲット等と親和性の高い事業実施 ☐ 関係者への協力

その他「SDGs17」の目標

1	2	5	6	7	9
【国連の目標】					
貧困をなくそう	飢餓をゼロに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	産業の技術革新の基盤をつくろう
【富竹の里が推進していく活動例】					
☐ 社会福祉法人減免	☐ 非常食や水の備蓄	☐ くるみん認定	☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ 施設設備の近代化 ☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ ICT・IOT・AI等でDX化
10	12	13	14	15	16
【国連の目標】					
人や国の不平等をなくそう	つくる責任使う責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に
【富竹の里が推進していく活動例】					
☐ くるみん認定	☐ 建物設備の計画的な改修と建て替え	☐ 非常災害対策 ☐ 災害派遣福祉チーム員の養成・派遣 ☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ ガバナンス・コンプライアンス体制の整備 ☐ 包摂的な制度への協力

* カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること

* DX：「Digital Transformation」進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

1

取り巻くリスクと機会への対応

Responding to risks and opportunities

**4 YEARS
OF
ACTION**

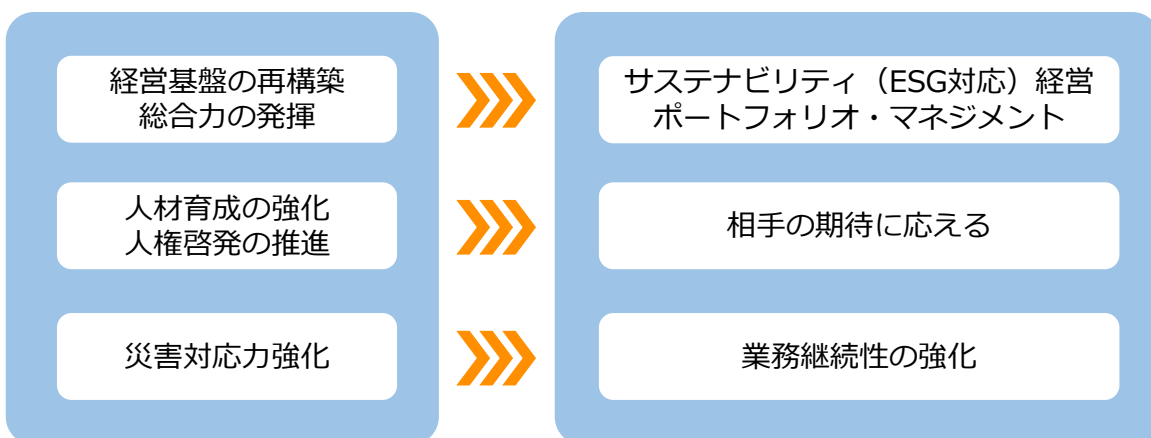
中期経営計画 2023

創造と進歩 Creation & Progress

不可実性が高い時代においても、当法人独自のインテリジェンスを駆使しながら、時代の先を読み、変化に対応できるための指標です。2023年4月～2027年3月の4年計画である中期経営計画を作成しました。計画に沿って実行し、進捗状況を確認しながら、ビジョンを実現し、パーパス（存在意義）を果たしてまいります。



中期経営計画の骨子 Outline of business plan



ビジョン実現に向けた重要目標達成指標／年 Key Goal Indicator

法人事業活動資金収支差額	4千万円以上	地域に役立つ事業を通じて、健全な利益の増大を図ります
法人利益率	6.0%以上	「収入最大、支出最小」で、利益率の引き上げを図ります
入所系事業所	98.0%	4億8千1百万円
在宅系事業所	80.0%	1億1千7百万円
居宅介護支援	介護給付1,300件、介護予防給付120件、総合事業70件	
介護予防支援	介護予防給付1,700件、総合事業1,500件	

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画2年目の目標と進捗状況

【法人事務局】

達成目標	具体的アクション	2年目の進捗	達成度	所感・今後の課題等
コスト削減	相見積り	当初見積り総額より、 654,635円削減 (17.2%減) ・累計削減額2,475,047円	A	・3社以上の相見積りが効果的 ・質とのバランスで実施継続
	代替品調査	73,050円削減 ・テラカートリッジ 互換品切替 ・清拭タオル ネット購入 ・累計削減額132,767円	B	・物事の惰性化の見直しが重要 ・中古品の検討も並行して実施
	補助金獲得	総額 15,029,043円 (内訳) ・特定求職者雇用開発助成金 1,100,000円 ・結核健康診断事業 57,618円 ・処遇改善支援補助金 1,231,425円 ・介護保険基盤整備補助金 3,800,000円 ・介護リハビリ支援補助金 8,840,000円 累計額：32,065,775円	A	・使える補助金施策のチェック ・補助金の申請代行業者の活用 ・時間及びコストの削減効果
	空調設備更新	1社より見積り依頼	C	・補助金があっても高額 ・機器選定等再検討
	節電	法人全体で、前年度比 2,440kWh削減 ➡一般家庭0.6年分の消費電 力量相当 ※一般家庭の年間消費電力量 全国平均は4,175kWh (出典：環境省「令和4年度 家庭部門のCO2排出実態統 計調査(確報値) P1表1」) 累計削減33,568kWh ➡一般家庭8.1年分に相当	A	・使用料金としては前年度比 130,652円増 (電力単価値上げ/割引施策終了) ・令和6年12月に契約プラン変更 約300万円減/年 挑戦中
業務効率化	I C T 化推進	・ナースコール更新 見守りカメラ設置 介護ソフトとの連動 ・労務管理のI C T 化	B	・夜勤者一人あたり一勤務につき 平均10回、約150～200分 ➡7～8回、30分～1時間削減 ・労務管ソフト導入後デメリット把握 課題解決サービスの再検討
	業務標準化	事務所職員の業務掌握、業務 ごとの所要時間計測	C	・業務掌握 ・標準化未着手
	社用車の運用 見直し	全車リース化 リースバック検討中	-	・未着手

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画2年目の目標と進捗状況

【特別養護老人ホーム富竹の里・富竹の里和み、富竹の里ショートステイホーム】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	2年目の進捗	達成度
コスト削減	7 12 13 14 15	ペーパーレス	出状書類チェック 帳票中止、出力変更 資料 原則A4/1枚 資料電子化	ケア帳票,研修資料,家族通知等 約80,000円/年 削減 (切手代等の通信費含む)	B
		節電	照明ON/OFF	管理者ラウンドで意識向上	A
			冷暖房ON/OFF 温度設定管理	管理者ラウンドで意識向上 富竹の里和み空調設備更新	B
		削減意識醸成	相見積り、値引き 消耗品等金額表示	富竹の里：84,700円削減 富竹の里和み：128,843円削減	A
利用率 特養：98% 短期：80%	3 4 8 9 11 17	入所空床減少	広報活動 ホームページ更新	42件（前年比1.2倍）	A
			他機関との連携	地域包括・老健への営業 ・12事業所訪問 ・パンフレット等50部配布 入所待機者現況調査 ・2回実施	B
			事前契約	富竹の里：6件 富竹の里和み：3件	A
			2週間以内入所	富竹の里：17.7日（16.5日） 富竹の里和み：11.6日（28.2日） （括弧内前年度）	A
		入院空床減少	退院許可後翌日受入	体制整備	B
			口腔衛生管理	歯科衛生士契約 LIFE等加算算定	A
			体調管理 嘱託医等との連携 ACP推進	入院日数（括弧内前年度） 富竹の里：166日（510日） 富竹の里和み：79日（325日）	A
			介護事故・感染予防	効果測定、モニタリング	B
		減収見える化	空床・入院減収額	全職員へ周知	B
サービス質 維持・向上	4 8 10 16 17	人材育成	他者との連携	P16 参照	B
			資格取得	介護福祉士1名合格	C
			効果的研修	P14、P16、P19 参照	B
			希望実現	P17、P22 参照	B
			ケア研究	P21 参照	A

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画2年目の目標と進捗状況

【上松ホーム】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	2年目の進捗	達成度
コスト削減	6 7 12 13 14 15 16	ペーパーレス	嘱託医との連携	バイタルリンクの活用	A
			ご家族への通知	・オクレンジャーの活用	A
			職員間の送り方法	・文房具を廉価品に切替	A
		節電・節水等	節電	・照明ON/OFF ・冷暖房ON/OFF ・温度設定管理 ・ポット食洗機の効率的な仕様 ・エアコンの入れ替え 【使用電力】 前年度比 4,303kWh削減 (一般家庭の年間消費電力量の約1年分) 【水道代】 前年度比 123,810円削減 (ほぼ1ヶ月分使用料金相当)	A
				・水量調節 ・こまめに水を止める ・食洗器の効率的な使用	A
				・ごみを小さくして捨て、ごみ袋の使用量削減	C
		削減意識醸成	相見積り、値引交渉 消耗品等使用量管理 物品購入の適正化	・52,390円削減	A
			消耗品等の金額見える化	・一覧表の作成	C
利用率98%	3 4 8 9 11 17	入所空床減少	事前契約 2週間以内入所 他機関との連携	・入所待機者がいなく実施不可 ・居宅介護支援事業所への営業 (待機者増加につながらず) ・待機者整理 ・職員の意識改革	C
		入院空床減少	体調管理	医療と介護の連携	B
			退院許可後翌日受入	・柔軟な受け入れ態勢の構築	A
サービスの質等の向上	4 8 10 16 17	人材育成	環境整備	・玄関や共有場所、庭の手入れ	B
			利用者家族等の希望実現	ご家族との担当者会議の開催	B
				・外出、行事の充実 ・看取り支援の推進	A

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画2年目の目標と進捗状況

【富竹の里デイサービスセンター】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	2年目の進捗	達成度
稼働率80%	3 4 8 11	サービスの質 向上	営業エリア拡大 居宅への営業	・通常エリアへの切り替え 原点回帰、送迎・緊急時対応	C
			空き情報の提供 お試し前の事前訪問	・お試し利用26件 ・新規契約26件（自法人8件）	C
			セラピスト持続雇用	・セラピスト2名体制未達 ・看護職員増員で加算取得増	B
			重度者の積極的受入	・中重度者30%以上未達成 4月20.6%→3月26.6%	B
			対地域の取り組み	・外部専門職との企画立案	B
			職業倫理の醸成 人材育成	・研修の担当制（計画的実施） ・外部研修への参加 ・法定研修以外の実施	A
			人材確保 モチベーションUP	・日曜休業（令和6年11月～） ・業務見直し（配置変え/増員） ・有給休暇取得促進12日以上	A
		情報提供	ホームページの活用	・ブログアップ45件 ・SNS開設	B
		運営見える化	稼働実績の見える化	・集計データの細分化	B
			“対目標値”の意識	・対策と目標値の再設定	B
コスト削減	3 8 17	整理整頓	5 S 活動	・エアコン掃除 ・不要物の廃棄	B
		適切な送迎	送迎ルート見直し 適切な車両整備	・最短ルート/最小便数 ガソリン使用量6,464ℓ 1台増で前年度対比増 ・送迎手当3,094回	B
		削減意識醸成	節電	・電気使用量63,910kWh	A
			印刷物の削減	・141,754円（前年対比増）	C
			相見積り等の徹底	・21,132円減	B
非常時及び 災害時対策 の構築	4 11 7	地域との連携	地域防災訓練参加	・長沼地区の防災訓練に参加	B
		適切な備え	実効性のある訓練	・備蓄品の管理と見直し ・避難と通報訓練の実施 ・送迎時トラブル研修	B
		マニュアルの 見直し	非常災害・感染症 BCP見直し	・BCPとマニュアルの更新 ・研修実施	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画2年目の目標と進捗状況

【光仁会富竹の里介護支援センター】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	2年目の進捗	達成度
居宅支援 給付UP	3 4 8 11 17	新規契約	他機関との連携 介護支援専門員増員 エリアの緩和と拡大 認定前、入院中等の 事前介入	・病院-医療機関-老健との連携 ・近隣の包括等への挨拶 (富竹、若槻、吉田、北長池、 豊野サブセンター) ➡エリア外1名、他事業所3名	A
		加算算定	初回加算 入院時情報提供加算 退院退所加算 通院時情報連携加算	➡40回 ➡27回 ➡6回 ➡9回 *合計82回の加算算定	A
		サービスの質 向上	専門的・各種研修 自己研鑽・人材育成 他機関との連携 健康管理	・研修会の実施と参加(14回/年) ・包括、地域、民生児童委員と の連携と相談 ・社会資源の紹介と活用	B
		運営状況の 見える化	給付実績の見える化	・経営状況の全職員への周知 ・居宅介護支援及び予防マネジ メント実績の回覧 ・ケアマネ別プラン作成数表示 と常勤換算算出値の回覧	A
			“対目標値”の意識		
コスト削減	3 8 17	整理整頓	5S活動	・不要物の管理 ・使用可能品のリユース ・環境整備 ・気づいたら即座に行動 ・ごみの減量	A
		ペーパーレス	紙媒体(提供票等) の電子化とその送信	・現状ケアプランFAX実績管理 ➡FAXで1か月250枚使用 ・ケアプランデータ連携システム導入後 ➡約3,000枚/年 削減見込み	-
		印刷物削減	不要な書類の削減 カラー印刷の制限 裏紙の活用	・コピー両面集約印刷 ・2色刷り(カートリッジ追加無)	A
		節電	無理のない節電	・蛍光灯6本削減 ・冷暖房の時間設定と温度設定 ・電源ON/OFF(スイッチの設置) ・夏季(3か月)電気ポット中止 ➡各自水筒持参	A
		削減意識醸成	削減実績の見える化	・伝言メモ付箋中止➡裏紙変更 ・自転車の活用(ガソリン削減 と健康維持と増進)	A
効率化	3 4 8 17	ICT機器の 導入検討	ほのぼのタブレット ネットワークの可否検討 ケアプラン連携システム検討 バイタル等医療連携 システム導入検討	・ほのぼのタブレットの試験的運用 ・チャットワーク等の医療連携システム活用 ・バイタル等医療連携システム導入 5/24	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善(達成率50%以上80%未満)
C	やや改善	目標設定前より改善(達成率10%以上50%未満)

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画2年目の目標と進捗状況

【長野市地域包括支援センター富竹の里】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	2年目の進捗	達成度
コスト削減	7 12 13 14 15	ペーパーレス	5 S 活動	・ 書庫等の整理整頓 ・ 不要物の廃棄 ・ 適切な設備更新での環境整備	A
		節電	無理のない節電	照明ON/OFF	B
				冷暖房ON/OFF 温度設定管理 ストープ台数の見直し 印刷機の節電モード設定	A
		削減意識醸成	相見積りの徹底 灯油量のチェック	220,000円削減 ストープ台数見直しで灯油量減	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

2

働きやすい職場環境整備 Comfortable work environment



チームケア



「従業員満足なくして顧客満足なし」

職員が自分の職場や仕事に誇りを持ち、働きやすく働きたいを得られ、お互いの信頼関係のもと、持てる能力をフルに発揮できる職場環境の整備を進めています。

ワーク・ライフ・バランス支援、ダイバーシティの推進をとおして、職員の確保、働きがいや生きがいの向上、新しい発想や価値創造の実現を目指します。

一般事業主行動計画策定

職員が仕事と子育てを両立させることができ、全職員が働きやすい環境を作ることによって、個々の職員の能力を十分に発揮できるよう計画を作成しています。

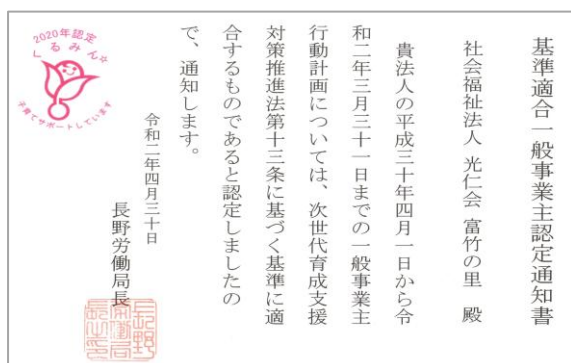
【目標】

男性職員の育児休業または子の看護休暇等の1名取得を目指し、再度各制度の周知を徹底し、目標達成に向けて取り組みます。

○育児休業を取得した職員から育児休業中の体験談収集

○朝礼等を通じて育児休業の体験談を発表し、育児休業制度の理解と取得促進の強化

くるみん認定



職場でのハラスメントの防止に向けて



弁護士として活躍する講師をお招きし、働きやすい職場環境の推進等を目的に、ハラスメント防止研修会を開催しました。

規則の変更

法改正等に対応するための規則変更

- ☒ 職員就業規則
- ☒ 給与規定
- ☒ 子の看護休暇・介護休暇制度等の規程

各種休暇の取得状況

年次有給休暇（約11.5日）

子の看護休暇（100%）

法令遵守



社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。
(定款)

品質方針書の作成と伝達

理念や倫理行動規範、業務の基準などが記され、サービスの質向上に取り組むための冊子「品質方針書」を制作し、雇用形態に関わらず全スタッフに配布しました。
また、職員研修や新規職員採用時等には本書をテキストとして使用し、職員間で統一できるよう取り組みました。



苦情解決第三者委員会

古里・柳原・長沼の3地区の民生児童委員にご協力いただき、ご利用者やご家族からの相談・苦情等に対応する体制を整えています。

1年間の相談・苦情・介護事故・感染症等の報告を行い、より質の高い、ご利用者にご満足いただけるサービスの提供を目指しています。

顧客満足度アンケート実施

毎年、満足度の維持・向上の取組みとして、[満足度アンケート](#)を実施しています。
安全と尊厳の保持、サービスの質確保、職員の負担軽減を継続的に取り組みます。



事業所名	区分	信頼性	応答性	確実性	共感性
特養 富竹の里	満足～やや満足 不満～やや不満 未記入	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特養 富竹の里和み	満足～やや満足 不満～やや不満 未記入	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
短期入所	満足～やや満足 不満～やや不満 未記入	88.9%	88.9%	89.0%	100.0%
		11.1%	11.1%	11.0%	0.0%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
通所介護	満足～やや満足 不満～やや不満 未記入	94.7%	94.3%	95.0%	95.2%
		1.0%	1.4%	1.4%	1.4%
		4.3%	5.2%	3.6%	3.4%
有料 上松ホーム	満足～やや満足 不満～やや不満 未記入	100.0%	93.8%	93.8%	93.8%
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		0.0%	6.2%	6.2%	6.2%

キャリアアップ



社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できる法人であることが重要です。職員の資質のより一層の向上を図り、その有する可能性・能力を最大限引き出す取り組みを推進しています。

さらには、他の職場やご家族、地域住民の皆さま等、様々な人々と交流し、相互に啓発しあう機会を大切にしています。

関東ブロック老人福祉施設研究総会 長野大会



他県の施設・事業所の発表は勉強になります。介護人材の慢性的な不足という課題を抱えながらも、多様化するニーズや地域福祉の拠点としての役割を果たしていく工夫や取り組みを学ぶ機会となりました。

“新たな介護スタイルの創造”というテーマでの開催でしたが、私たちが発信力と吸収力を高めていくことが、これから先の福祉の“継続”にとって重要です。

全国に頑張る仲間がいるということは、モチベーションに繋がります。

第3分科会 経営
施設長 発表動画



<https://www.youtube.com/@tomitakenosato>

特養 家族会 4年ぶり開催 ～終の棲家で、どう生きるか～

平均年齢は90歳。看取りとなるケースは増えています。老衰にどう向き合うか等について、嘱託医からの説明やACP・看取り介護の実践紹介を行いました。より豊かな質の高い人生に向けて、家族と一緒に考えて、感染症で止まっていた“トキ”や“コト”を戻したい。家族との時間を一日でも多く大切にしたい。そんな思いと願いを込めました。



K・TIMES
アンケート結果





福祉施設における介護実務研修

刑務所内の高齢化が進み、受刑者同士で介護する場面が増えています。

今回、高齢又は障害のある受刑者を処遇する刑務官等に必要な知識の習得及び技術の向上を図るための、研修会を開催しました。

人生の最期にどう在りたいか。

長野市地域包括支援センター富竹の里では、地域の方を対象に「介護者教室」を開催しています。

長野市地域包括ケア推進課から講師をお招きし、

- ・ 人生会議
- ・ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

について、ご講演いただきました。

人生の最期にどう在りたいか。
だれもが大切なことだとわかっています。
でも、なんとなく「縁起でもないから」という理由で、
避けてはいないでしょうか。

もしバナゲームを使ってそんな難しい話題を考えたり、
話し合うことができました。

ご参加いただきました地域の皆さま、ありがとうございました。



職員の働きやすい職場環境づくり ～移乗用リフト研修会～



ご利用者さま個々の体格等にあわせて、安全に移乗支援を行う方法として、移乗用リフトが活躍する場面も増えてきました。

ご利用者の皆さまと職員にとって安全・安心な移乗支援を目指し、職員の腰痛予防にも努めたいと思います。

職員の待遇改善、人材育成及び介護現場の生産性向上への取組を継続して推進します。

地域共生



施設サービス・在宅サービスの事業所内運営にとどまらず、地域と共に歩み続けています。

施設サービス・在宅サービスをご利用されるお一人おひとりが、地域の一員として、住み慣れたこの地で暮らし続けることを大切にしています。

遠くとも一度は詣れ善光寺

秋晴れの中、創建以来約1400年の歴史を持つ善光寺へ。

日本最古の仏像といわれる一光三尊阿弥陀如来（いっこうさんぞんあみだによらい）を本尊とする寺院です。

ご先祖様に思いを馳せて、お参りさせていただきました。



秋祭り

獅子舞とは、ライオン起源の想像上の動物・獅子の頭を模した被り物などをつけて舞い踊る、日本各地で見られる伝統芸能です。

地元の神社・神楽保存会の皆さまによる獅子舞で、秋晴れの爽やかな風によって、鮮明な笛と太鼓が響き渡ります。

無病息災、延命長寿、所内安全を願い、悪魔払いと四方固めを行っていただきました。



盆供養

お盆はご先祖様の霊を祀る伝統的行事であり、日本人が大切にしてきた行事の一つです。地元、曹洞宗の大寺・信叟寺（しんそうじ）のご住職により、盆供養を執り行いました。



運営推進会議

地域密着型サービスでは、2月に1回活動状況を報告し、助言を頂きました。地域に開かれた運営で、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

相互扶助



社会経済情勢の変化や少子高齢化（人口減少）の進展、自然災害が多発する今後の社会を展望すると、みんなで支え合っていくこと（互助）を再構築する必要があります。

「地域包括ケアシステム」の一員として、地域の支え合い体制づくりや地域住民の方に対する効果的で効率的な介護予防支援等を推進しています。

公開講座 ～人生の最期まで穏やかな生活を～



入居待機者及び申込者等の皆さまに、「終の棲家」でもある特別養護老人ホームを知っていただくことを目的に開催しました。

ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

[公開講座及び施設説明会
アンケート集計結果](#)



学生の施設見学

平成21年から信州スポーツ医療福祉専門学校介護福祉学科1年生のみなさんの施設見学を受け入れています。

先輩は後輩たちへの説明に力が入ります。

今回の施設見学を今後の学びに役立てていただければ幸いです。



住み慣れたまちで健康で暮らせるために ～施設スペースの無料開放～



平成30年12月より、地域住民の方に施設スペースを無料開放し、毎週約15名の方が介護予防運動に参加されています。

健康運動指導士により指導が行われていて、健康維持と増進につながっています。

生涯現役社会の実現に向けて、高齢者等の活躍できる地域づくりができればと考えています。

7

危機管理体制 Crisis management system



安全第一



私たちの住む日本は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火など、さまざまな自然災害が場所を問わず発生しやすい環境にあります。

今、命や財産を守る防災・減災、国土・国民強靱化の推進は、社会にとって重要かつ喫緊の課題です。

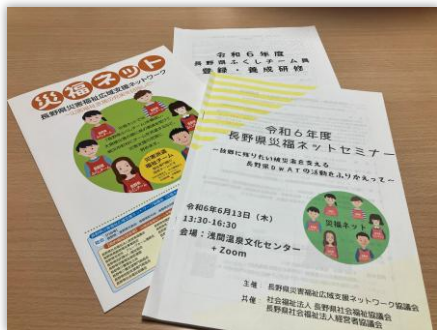
地震を想定した避難（BCP）訓練 ～能登半島地震の教訓～

“災害大国日本”で生きていることを再確認し、自然災害の実態・教訓・対策を学び、自然災害に強靱で、被災地支援やまちづくりに一層貢献ができる法人を目指して研修会を開催しました。

長野市職員、各地区の民生児童委員会長・民生児童委員、区長、家族会会長など、地域関係者の方々にもご参加いただきました。



災福ネット（長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会）



令和6年度長野県災福ネットセミナー、長野県災害派遣福祉チーム員（DMAT）養成・更新研修会に参加しました。

新たに1名の職員が登録研修を受講しました。

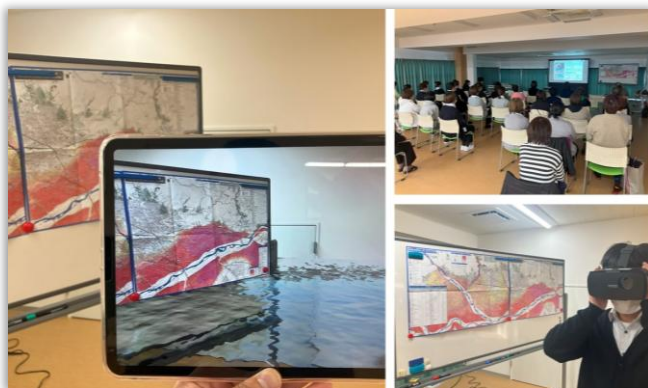
当法人では、平時から顔の見える関係づくり、事業継続計画（BCP）策定、在宅・避難所における要配慮者支援、福祉事業所間連携を推進しています。

水害を想定した避難（BCP）訓練 ～AR浸水体験～

「自分の命は自分で守る」という一人ひとりの意識の醸成と適切な避難行動が必要です。

AR技術を活用して、実空間に浸水の様子を再現することで、よりリアルな災害体験ができます。発災時の迅速な避難にも繋がります。

ご参加いただいた地域の皆さま、ありがとうございました。



長沼地区防災訓練への参加

長沼地区には、職員とその家族、ご利用者も多くいらっしゃいます。

命を守るために、そして事業を継続するためにも、地区コミュニティタイムラインに基づいた情報伝達や避難行動などを知ることは、私たち福祉事業者にとって、とても重要なことです。

日頃から、もしもの時に備えた災害に対する「心がまえ」と「顔の見える関係」を大切にします。

長沼地区住民自治協議会の皆さま、関係者の皆さま、ありがとうございました。



火災を想定した避難・通報訓練

福祉施設は、定期的に避難訓練を実施する義務があります。

火災を想定した通報訓練、各種消火器の取り扱いなどについて確認を行いました。

自然災害アンケート調査結果2024

自然災害アンケート調査 集計結果 2024

【調査概要】
調査目的：職員の防災・減災意識の醸成、命を守る取り組みの推進
業務継続計画（BCP）の見直し
調査方法：オクレンジャー使用によるアンケート調査
調査日：2024年11月13日～2024年11月17日
調査対象者：職員100名



社会福祉法人光仁会富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

定期的に職員を対象にした防災・減災のための意識調査を実施しています。

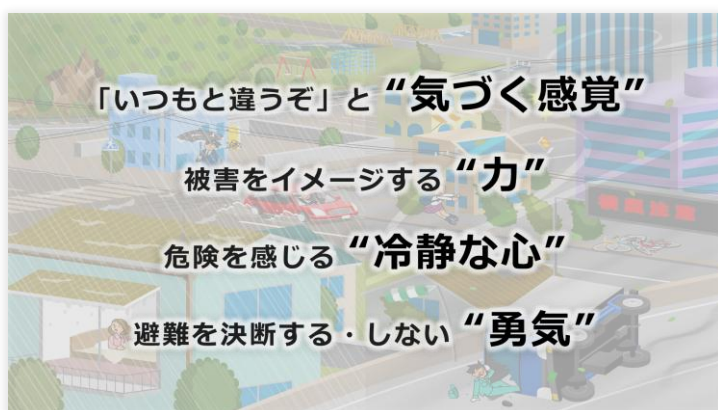
アンケート調査からは、BCPの取り組みの進捗状況を確認できます。

私たちが今すべき研修内容が見つかります。

[自然災害アンケート調査結果](#)



災害史に学ぶ ～経験から得た教訓を防災・減災に活かす～



令和元年東日本台風から5年。
私たちは教訓を伝えています。

[猪の満水災害デジタルアーカイブ](#)

[社会福祉施設等の水害対策検討会議の提言](#)

[社会福祉施設等の水害対策に関する研修動画](#)



防災イベント・他法人研修への協力

各種団体が主催する防災イベント・研修会に協力を
させていただいています。

普段から様々な方との連携を大切にしています。

「居安思危 思則有備 有備無患」

CHAPTER4

災害時の食事



令和7年1月31日(金)
～食事の提供に関するBCP研修会～
(社福) 長野市社会事業協会 共和寮

令和7年2月14日(金)
～文化芸術 × 防災～
(一財) 長野県文化振興事業団

外部防災研修への参加 ～パッククッキングに挑戦～

～パッククッキングとは～

食材を耐熱性のあるポリ袋に入れて、
湯せんで加熱する調理方法です。
洗い物を出さずに、簡単に温かい料理
を作れるため、災害時でも役立ちます。

自分の命、家族の命、高齢者等の災害
弱者の皆さまを災害から守るために、
安全安心な暮らしの継続と防災・減災
の取り組みを推進しています。



感染症対応（BCP）の見直しに向けて



依田窪病院感染対策室感染管理
認定看護師 豊岡 拓馬 先生を講
師にお招きし、感染症研修会を
開催しました。

研修ルームに居室を再現し、曝
露リスクに応じた防護服の選択
について、シミュレーション訓
練です。

今後の発生に備えて、マニユア
ルや感染症事業継続計画（BC
P）の見直しを進めます。

質の高い死



私たちは、ご利用者の人生の最期のフェーズに携わり、エンディングストーリーを適切につくり上げていく役割があります。ご利用者・ご家族等との会話をとおして、想いを尊重し、納得できるプロセスをガイドすることが責務だと思っています。

“百人いれば百通りの生き方、逝き方がある”

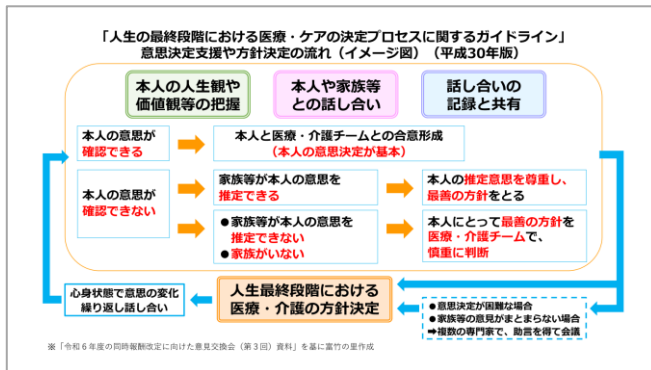
人生の最期まで尊厳ある生活（その人らしい生活）とご利用者・ご家族の意向に沿った看取りケアを支援します。

看取り介護をさせていただいたご利用者数

事業所名	退所者数	看取り実施者数	看取り率
特別養護老人ホーム富竹の里	20人	10人	50.0%
特別養護老人ホーム富竹の里和み	5人	2人	40.0%
介護付有料老人ホーム上松ホーム	11人	8人	72.7%
合計	36人	20人	55.6%

看取り介護推進研修

“豊かな質の高い人生は、アルファにしてオメガである”



人生の最期まで、尊厳を保持し、本人の望む最期を実現することができるよう、もしバナゲームなどをおとしてACP（人生会議）について学びました。

私たちは、大切な人に囲まれて、自分ならではの人生物語の最終章を書き上げるお手伝いを実践します。

職員アンケート結果



住み慣れた場所で最後まで ～パンフレット～

福祉施設での看取り介護を、ご利用者ご本人に代わって決断するご家族の精神的な負担には、

- 選択時の迷いと重責
- 選択後の衰弱する姿への悲しみ
- 決断の動揺
- 最期の時が近いと覚悟する悲哀 などがあります。

それは、本人や家族の想いに寄り添う職員も同様です。

私たちは、[看取り介護パンフレット](#)を活用しています。



終の棲家でよく生きる ～ACPのカケラ集め～



両親が眠る墓前にもう一度

施設から約1時間。
道は進むごとに狭く、木々に囲まれ暗くなり、道の傾斜もきつくなったその先に、特養で生活をするAさんの生まれ育った生家がありました。
真っ直ぐで急な石段を登り、両親が眠る墓前に手を合わせます。

終活「家、売ります」 自宅にもう一度

「自分で建てた家。私の思い出の宝物」

終活とは、より良い最期を迎えるための準備を行う大切な活動です。
遺された家族の負担を減らしたり、残りの人生を充実させる手段としても有効な方法です。

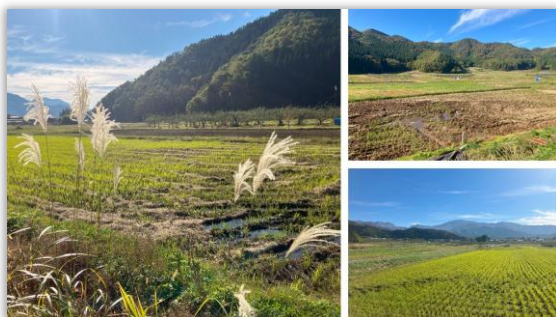


懐かしの食堂へ あの味をもう一度

記憶に残り続けるお店・料理があります。
懐かしの中華料理店へ。
あの当時と変わらないメニューです。
目の前に運ばれた黒炒飯を一口。
味もあの当時と変わらない。
家族との会話・笑顔が蘇ります。

家に・田んぼに・畑にもう一度

子どものころ、落ちていたどんぐりの実をポケットに忍ばせていた時のように、自分だけの小さな願い事を抱くことがある。
それは、施設に入ってからでも、そして死を間近にした時も同じで「ふるさとに帰りたい」「あの人に会いたい」など、さまざまである。



看取りで退院されてきたAさんの願いは、「自分の田んぼを見に行きたい」ということ。倒れる直前まで20枚以上の田んぼを管理し、無農薬で、ホタルが舞う田んぼを復活させ、農業の伝道師としても活躍した。
家族と弟子に囲まれて、自分ならではの人生の物語の最終章を書き上げる。

最終章には続編がきっとある。
さあ、次はホタルを見に行こう。



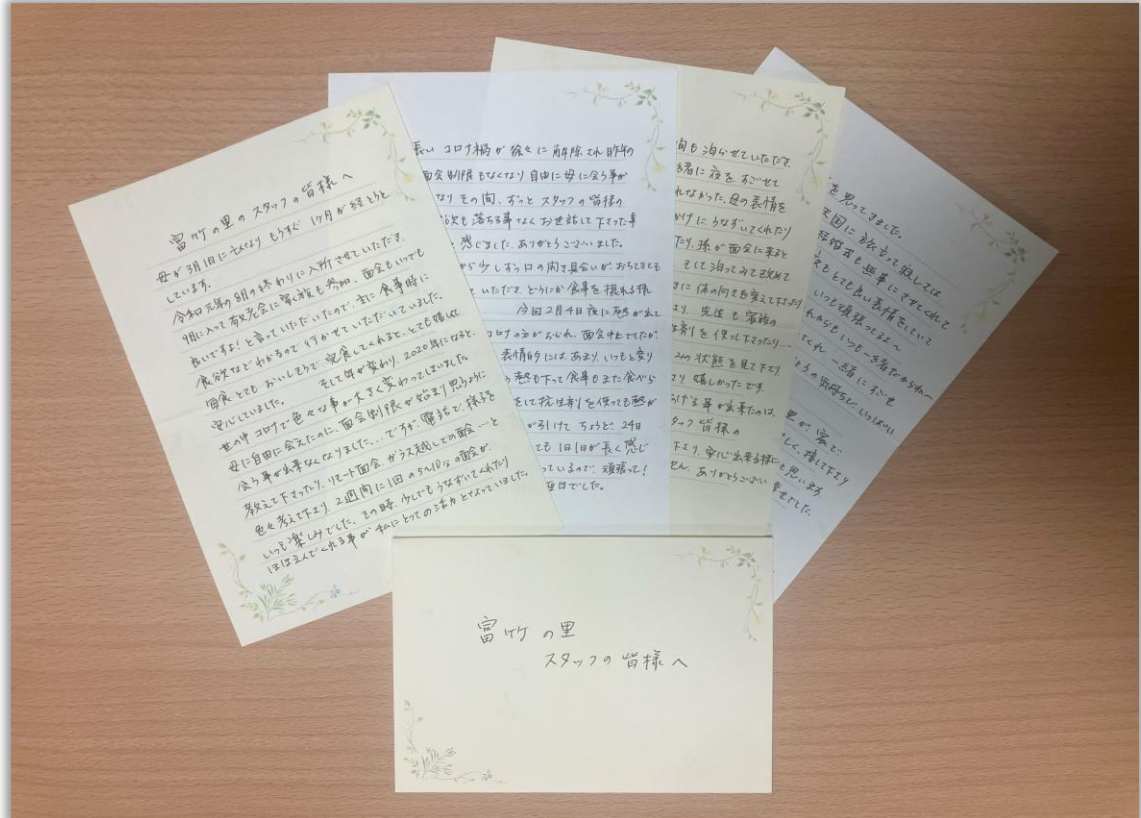
小春日和の畑で

長年りんご栽培に携わってきたAさん。看取りでかなり状態が悪かったのですが、「実ったりんごを見せてあげたい」と言うお嫁さんの望みを叶えます。

Aさんは献血30回という記録で、皇太子徳仁さま（現・天皇陛下）から直接表彰を賜ったことがあります。

最期のお召し物は、その時に着用した着物。

私たちは、望ましい選択肢を選びやすくする「ナッジ（nudge）」を大切にしています。



看取り支援をさせていただいた後に、ご家族から感謝のお手紙やお言葉をいただくことがあります。そこには、達成感や後悔など様々なお気持ちが含まれています。私たちは様々なことを学び、また次の看取り支援に繋げています。

～ 私たちが、看取り介護で大切にしている考え方～

明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の 吹かぬものかは

「明日でいい」と思っていて、機を逃してしまうことがよくある。

先延ばしにすることで、その時の気持ちは薄れていく。

「明日」は「明後日」に

「明後日」は「いつか」に

「いつか」は「永遠」に

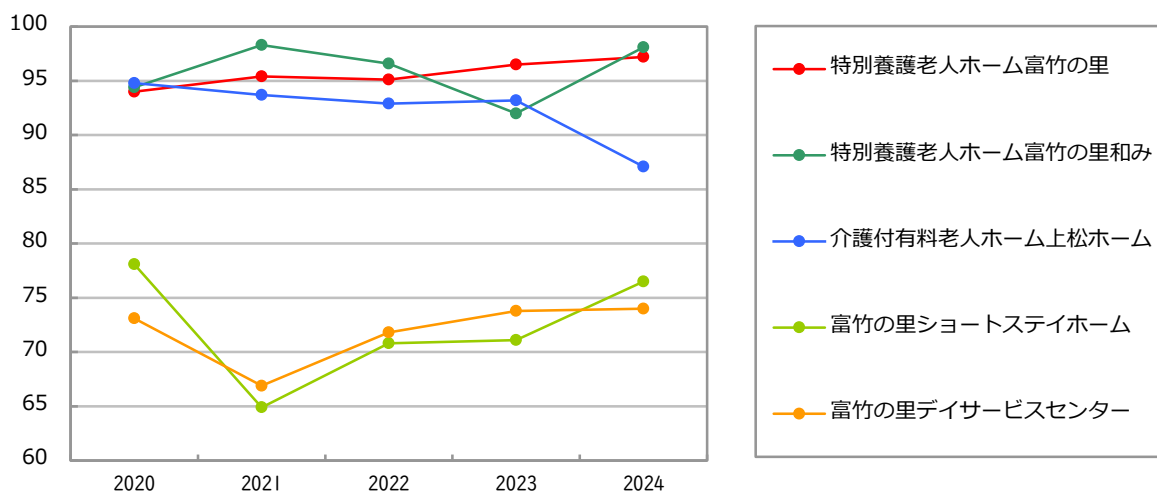
明日、自分や相手の命があるかなんてわからない。

だからこそ今を精一杯大切にしたい。

データ DATA

事業所毎の利用率

事業所名	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
特別養護老人ホーム富竹の里	94.0	95.4	95.1	96.5	97.2
特別養護老人ホーム富竹の里和み	94.4	98.3	96.6	92.0	98.1
介護付有料老人ホーム上松ホーム	94.8	93.7	92.9	93.2	87.1
富竹の里ショートステイホーム	78.1	64.9	70.8	71.1	76.5
富竹の里デイサービスセンター	73.1	66.9	71.8	73.8	74.0

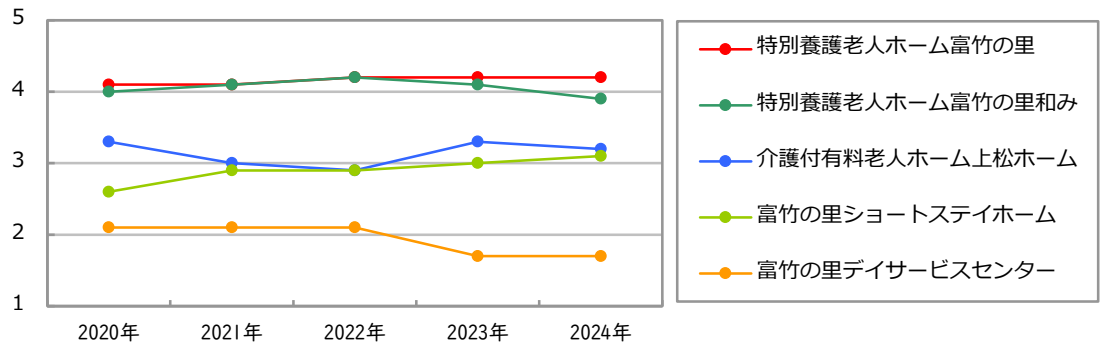


事業所毎の平均年齢

事業所名	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
特別養護老人ホーム富竹の里	87.8	88.0	87.0	88.4	89.0
特別養護老人ホーム富竹の里和み	89.4	89.8	91.1	88.5	89.0
介護付有料老人ホーム上松ホーム	90.7	89.5	90.4	91.1	91.2
富竹の里ショートステイホーム	90.0	90.6	90.9	90.7	90.3
富竹の里デイサービスセンター	88.3	88.3	88.1	88.9	88.9

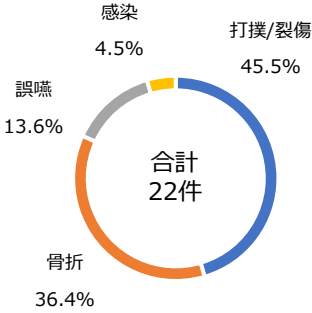
事業所毎の平均介護度

事業所名	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
特別養護老人ホーム富竹の里	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
特別養護老人ホーム富竹の里和み	4.0	4.1	4.2	4.1	3.9
介護付有料老人ホーム上松ホーム	3.3	3	2.9	3.3	3.2
富竹の里ショートステイホーム	2.6	2.9	2.9	3.0	3.1
富竹の里デイサービスセンター	2.1	2.1	2.1	1.7	1.7



事故報告件数

種類	件数
打撲・裂傷	10
骨折	8
誤嚥	3
感染	1
合計	22

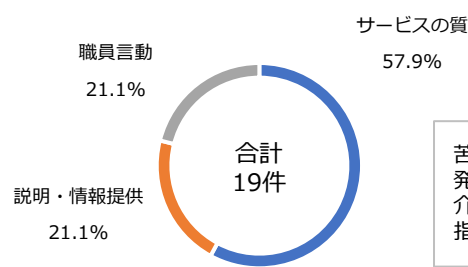


私たちは、長野市介護保険事故報告事務取扱要領に従い、介護保険サービス提供に当たり、以下の報告対象に該当する事故等が発生した場合は、長野市に報告を行っています。

- 1.利用者が死亡または負傷※した場合
※負傷とは、医師の保険診療を要したものの。
- 2.利用者が無届で外出し、警察・消防等に捜索協力を依頼した場合
- 3.その他事故により、利用者家族等から苦情が出ている場合

相談苦情件数

種類	件数
サービスの質	11
説明・情報提供	4
職員言動	4
合計	19



苦情解決第三者委員会を開催し、発生したすべての相談・苦情・介護事故について報告し、助言指導を頂きました。

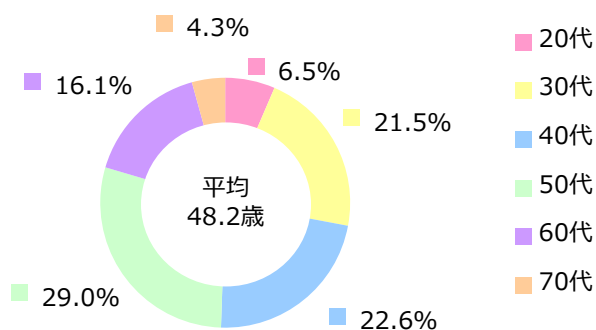
STAFFの数等

雇用形態	人 数
常勤	72
非常勤	21



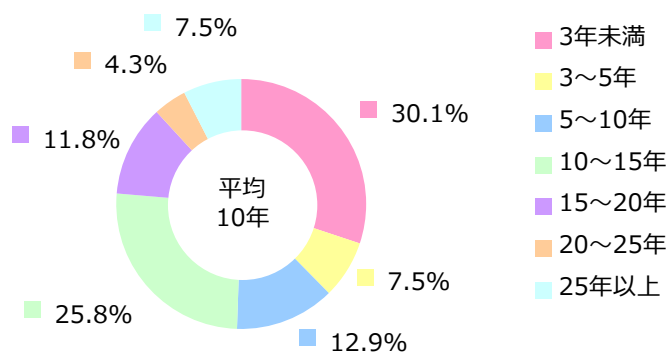
STAFFの年齢割合

年 代	人 数
20代	6
30代	20
40代	21
50代	27
60代	15
70代	4



STAFFの勤続年数

年 代	人 数
3年未満	28
3～5年	7
5～10年	12
10～15年	24
15～20年	11
20～25年	4
25年以上	7



事業所毎（介護職員）の介護福祉士保有率

	事業所名	保有率 (%)
①	特別養護老人ホーム富竹の里	92.6
②	特別養護老人ホーム富竹の里和み	92.0
③	介護付有料老人ホーム上松ホーム	85.5
④	富竹の里ショートステイホーム	92.6
⑤	富竹の里デイサービスセンター	97.0

主な資格保有者数

資格名	人 数
介護福祉士	71人
社会福祉士	5人
介護支援専門員	15人
看護師(准看含む)	16人
保健師	1人
管理栄養士	2人
栄養士	1人
理学療法士	1人
衛生管理者	2人

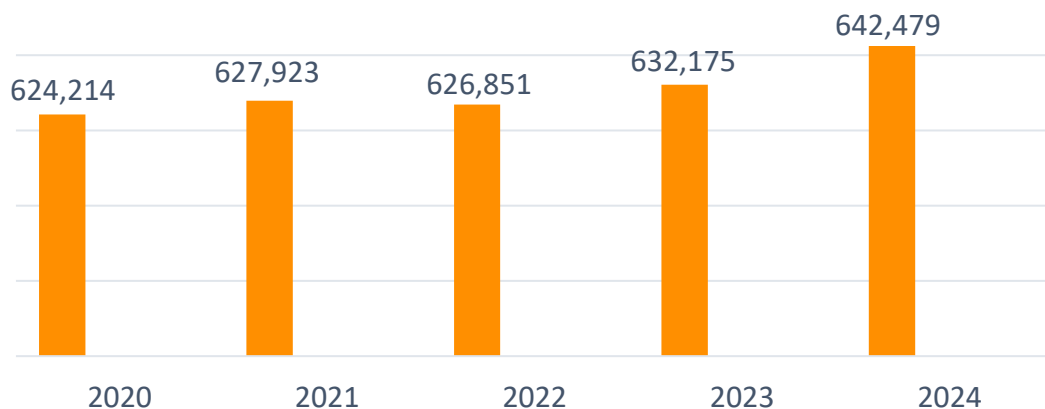
財務ハイライト Financial highlights



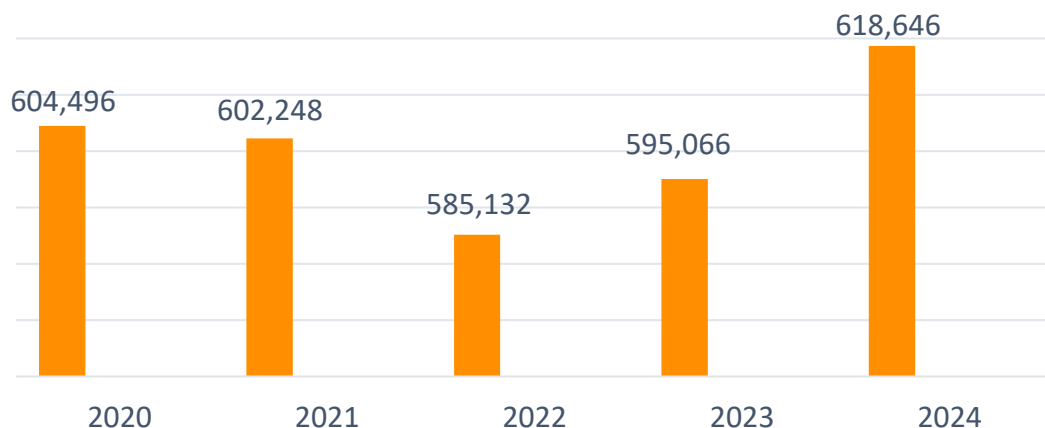
単位：千円

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
事業活動収入	624,214	627,923	626,851	632,175	642,479
事業活動支出	604,496	602,248	585,132	595,066	618,646
事業活動収支差額	19,718	25,674	41,719	37,109	23,833

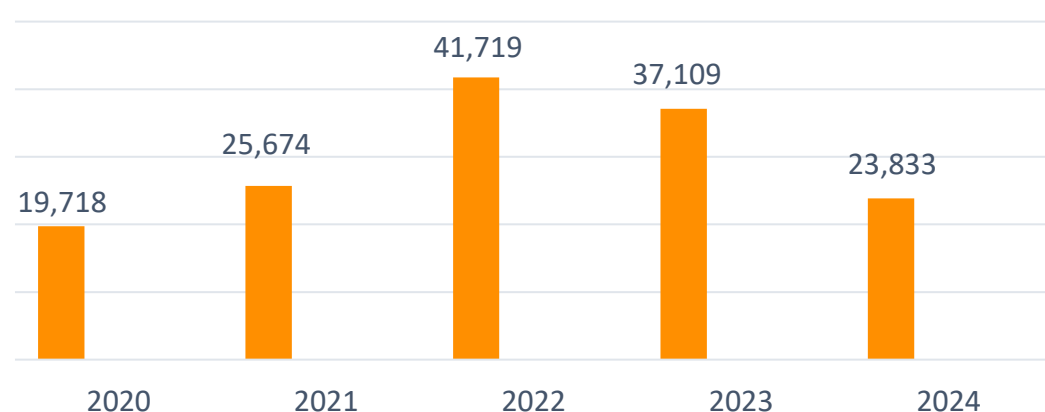
事業活動収入 Revenues



事業活動支出 Expenditures



事業活動収支差額 Total balance for the term

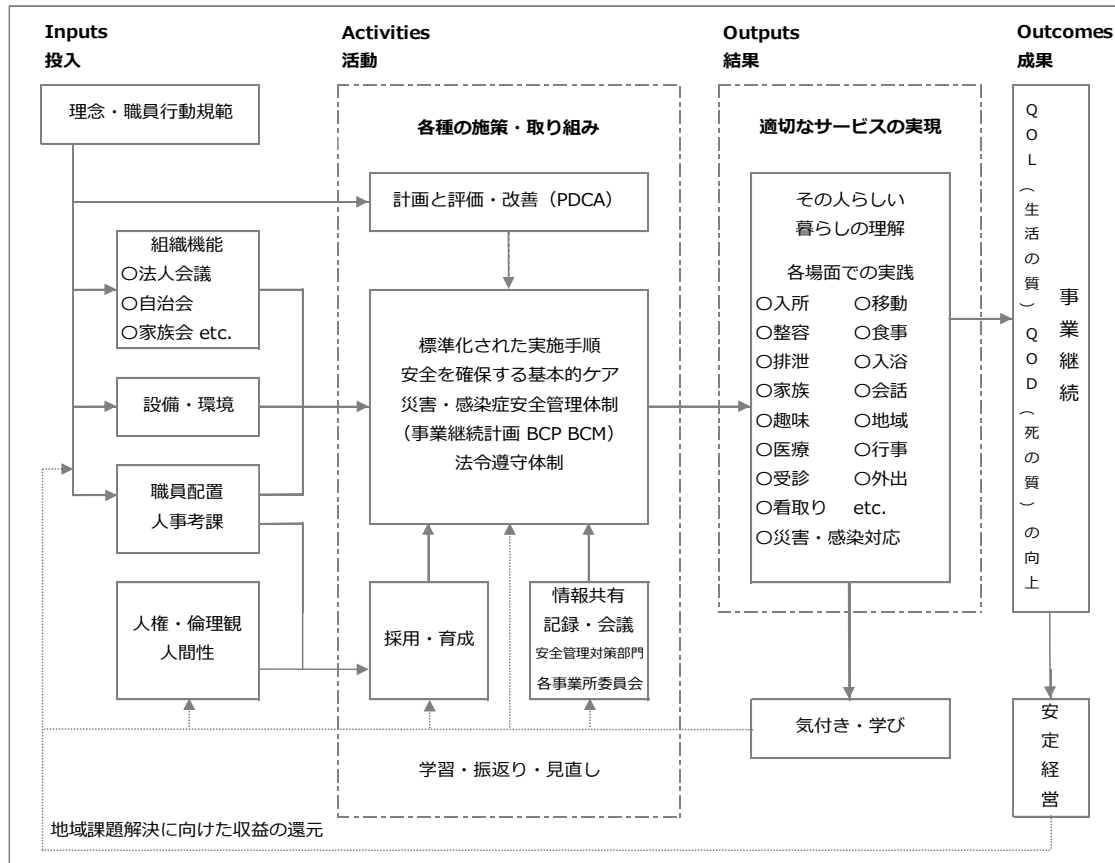
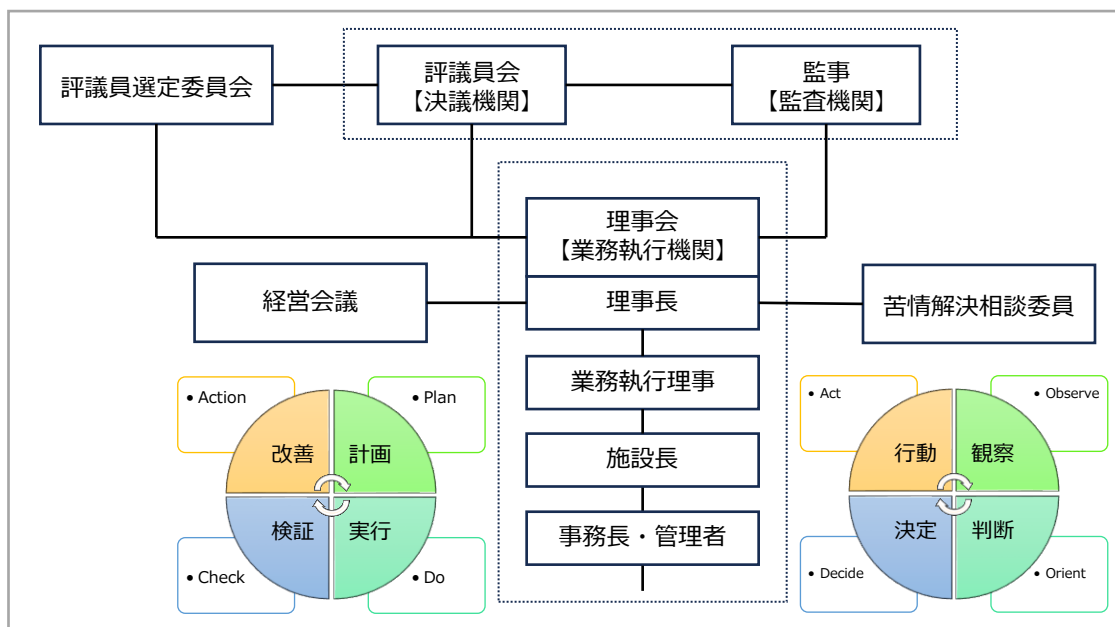


公正な事業慣行



企業統治 Corporate governance

事業活動における公正・公平かつ倫理的な行動や法令の遵守は、社会福祉法人としての社会的責任を自覚し、確実に果たすべき社会的責任の根幹であると考え、公正な事業慣行を通じて社会に信頼される法人を目指しています。



理事会・評議員会・評議員選任解任委員会 執行状況

開催年月日	場所	出席者	審議事項等
令和6年5月25日 理事会	富竹の里	理事8名 監事2名	・令和5年度事業報告 ・令和5年度決算の承認 ・富竹の里看取り空間整備工事 ・屋根再塗装及び漏水補修工事 ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的事項 ・運営規程の一部変更 ・職務執行状況報告書
令和6年6月14日 定時評議員会	富竹の里	評議員9名	・令和5年度決算の承認 ・令和5年度事業報告
令和6年7月16日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	・屋根再塗装及び漏水補修工事請負契約の締結
令和6年9月3日 理事会	富竹の里	理事7名 監事2名	・富竹の里デイサービスセンター日曜日休業 ・富竹の里看取り空間整備工事請負契約の締結
令和6年9月24日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	・運営規程の一部変更 ・給与規程の一部変更 ・経理規定の一部変更
令和6年11月30日 理事会	富竹の里	理事5名 監事2名	・補正予算 ・職務執行状況報告書
令和7年2月10日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	・経理規定の一部変更 ・評議員選任・解任委員会運営細則の一部変更
令和7年3月5日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	・運営規程の一部変更
令和7年3月29日 理事会	富竹の里	理事8名 監事2名	・補正予算 ・令和7年度事業計画書（案） ・令和7年度当初予算書（案） ・子の看護休暇介護休暇制度等規程の一部改正 ・苦情解決相談員の選任 ・次期評議員選任候補者の推薦 ・職務執行状況報告書

寄付金報告

退所された特養のご利用者ご家族 1 名の方から、10万円のご寄付を頂戴しました。

各事業所のトピックス Topics of each business office

特別養護老人ホーム富竹の里（定員56名） 富竹の里ショートステイホーム（定員8名）



ご利用者及びご家族との担当者会議を25回開催し、“その人らしさ”や“本人・家族の希望の実現”を大切に「ACPの力ケラ集め」を実施し、看取り支援を推進しました。
新型コロナウイルス：令和7年2月（ご利用者1名）
インフルエンザA型：令和7年1月（ご利用者20名、職員3名）
退所者：20名、入院延べ日数：166日、空床数：359日

ご利用者の利用状況（R7.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
10人	46人	56人	102歳	64歳	13年	3年0か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	14人	23人	19人	56人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	0人	4,673人	7,006人	8,194人	19,873人	54.4人

（富竹の里ショートステイホーム）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	22人	295人	504人	391人	660人	362人	2,234人	6.1人

特別養護老人ホーム富竹の里和み（定員20名）



ＬＩＦＥを用いた厚生労働省へのデータ提出を推進し、フィードバックの活用を進めました。
基本的な感染対策の実施で、家族の絆に深く関わる面会は制限なしとし、居室等でゆっくりとご面会していただきました。
感染症発生：なし
退所者：5名、入院延べ日数：79日、空床数：58日

ご利用者の利用状況（R7.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
4人	16人	20人	98歳	72歳	11年	3年6か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	1人	5人	8人	6人	20人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	274人	2,090人	2,746人	2,053人	7,163人	19.6人

介護付有料老人ホーム上松ホーム（定員24名）



行事では外出計画を充実し、お花見、紅葉、ジェラート屋へのお出かけなど、外の空気に触れたり、おいしい物を食べたりすることで、生活の質の向上に取り組みました。
退居者数が例年より多く、空床日数が長引き、利用率が低迷しました。看取り率は70%を超え、施設で最期を迎える方が増えていることから、最期までその方らしく尊厳のある生活を心掛け、「人」として自然に穏やかな時を過ごせるよう、ご家族や多職種と共に支援させていただきました。

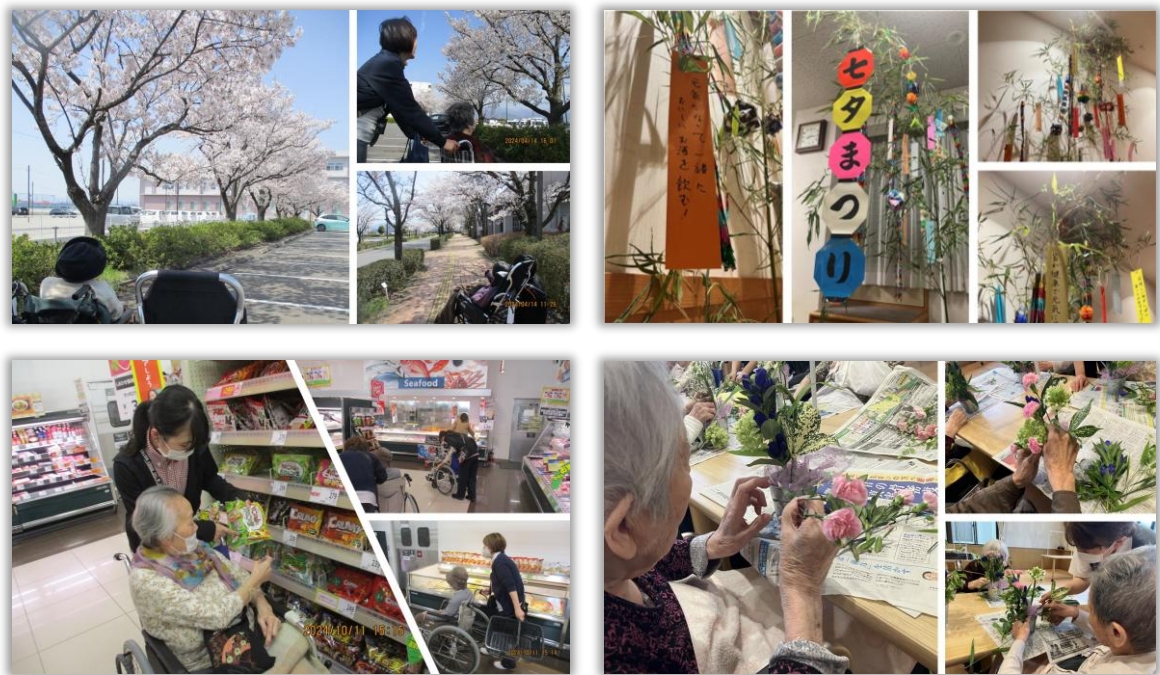
新型コロナウイルス感染症事業所内発生については、年間累計陽性者数がご利用者5名、職員9名でした。その内集団発生もあり、「感染対策」と「暮らしの継続」の両立に努め、陽性のご利用者の一刻も早い回復のための支援と収束に向けた対応に取り組みました。

ご利用者の利用状況（R7.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
8人	15人	23人	100歳	71歳	9年	3年1か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
6人	4人	4人	6人	3人	23人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
980人	1,747人	1,401人	2,270人	1,423人	7,821人	21.4人



富竹の里デイサービスセンター（定員35名）



稼働状況や介護人材不足に伴い、安定したサービス継続のため、令和6年11月より日曜日を休業としました。11月以降の登録・稼働率は、目標値に近づきましたが、感染症や軽度者（要介護度1・2）の増加による盆や正月等の利用キャンセルも目立ちました。支援終了となるケースは、39件（昨年度）から16件となり、介護度の改善もあいまって、ご利用者が在宅で健康的に過ごすことができました。

年間計画に基づき各種行事等は、ボランティアの協力も得ながら予定どおり実施しました。事業所の特色である機能訓練は、昨年度同様に理学療法士等の機能訓練指導員を配置し、個別機能訓練加算を算定しました。機能訓練指導員を増員し、上位加算を算定しました。ご利用者ひとり一人の目標を設定し、身体状況や意欲に合わせた個別計画を作成し、身体機能、生活機能の維持・向上を目指しました。理学療法士の担当者会議への参加、家屋調査も積極的に実施しました。また、一定の評価期間で、ご利用者のADLが維持できていると認められ、ADL維持等加算を算定しました。新型コロナウイルス：8月末から9月（ご利用者・職員多数）2日間休業 アンケート調査実施

ご利用者の利用状況

- 【介護保険・相当サービス】
- ・新規契約者 26名
 - ・契約終了者 16名（死亡9名、特養入所2名、その他入所2名、他事業所へ変更2名、転居1名）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
108人	154人	718人	3,764人	1,981人	989人	569人	470人	8,753人	25.9人

中重度の割合：25.8%、稼働日数：338日



光仁会富竹の里介護支援センター



ご本人の尊厳を守り、最適なケアマネジメントや支援を常に心掛け、医療や各関係機関とも連携を図り、相談・調整・会議やカンファレンス等を実施し、ケアプラン作成、各種研修等を行いました。

新規契約 42 件は、地域包括支援センターや病院等からの依頼に加え、直接ご家族や事業所等からの依頼も増えており、介護保険認定前の段階から介入し、各関係機関との密な連携と迅速な対応でスムーズな在宅生活が送れるよう調整支援を積み重ね、延べ 82 回以上の加算算定

に至りました。標準受け持ち件数を超えたため職員を増員し体制の強化を図り、また、ICT 機器導入を検討し、効率化と満足度向上につながるよう進めました。

終了契約 27 件は、ご自宅での看取りも含め、人生の最終段階までその方らしく生活ができるよう配慮し支援しました。また、在宅生活が困難となったご利用者が次のステージでも安心して生活ができるよう入所施設や入居ホーム、病院等と連携を図り情報提供も行いました。

ケアプラン作成件数等

介護給付 介護予防給付 介護予防ケアマネジメント（総合事業）	延べ1,022件 延べ130件 延べ46件	契約終了内訳 ・ご逝去11名 ・特養入所4名 ・事業所変更4名 ・居宅サービス利用中止1名 ・老健長期入所1名 ・長期入院2名 ・予防給付移行3名 ・ケアマネジメント移行1名
新規利用（介護） （介護予防） （介護予防ケアマネジメント）	34件 6件 2件	
入院時連携加算 退院・退所加算 初回加算(2段階変更、再開含む) 通院時情報連携加算	27回 6回 40回 9回	
契約終了	27件	

長野市地域包括支援センター富竹の里



地域包括支援センターは、福祉・保健・医療などに関する高齢の皆さまの総合相談窓口としての役割を担っています。社会福祉士・保健師（看護師）・主任介護支援専門員の専門職が配置されています。

併設する福祉施設の感染対策の事情から中止していた柳原地区の認知症カフェは、再開に向けて地域・行政と話し合いを重ね、令和7年度に柳原支所で再開予定です。古里地区では福祉事業所で活動し、地域

助け合い、認知症の理解と啓発、地域共生を目指して支援を継続しました。長沼地区では、地域助け合い事業検討会、福祉策定委員会に参加し、認知症カフェ等の居場所づくりへ向けてのアンケート調査を実施し、地区懇談会等では地区の特色を生かす活動への協働も実施しました。

- ・総合相談支援事業では、ご本人やご家族、地域からの生活全般の悩み・相談について支援しました。また、認知症の方の相談支援や高齢者実態把握を行い、必要な支援を早期提供できるよう努めました。しかし、すべての地区住民に対する相談に並走できたかどうか改めて振り返り、分析による科学知力の評価観点を養う必要性があります。引き続き、断らない開けた相談窓口としての機能を持続することに寄与してまいります。
- ・権利擁護事業では、支援が必要な高齢の方が適切な福祉サービスや金銭管理の支援が受けられるように成年後見制度の活用、虐待の未然予防や対応を行いました。消費者被害の情報を収集し、各地区民生児童委員協議会では各事例についての注意喚起を行いました。
- ・包括的継続的ケアマネジメント事業では、年2回管内ケアマネジャー連絡会で情報共有と意見交換等を行い、アンケート結果から今後の実施計画等の見直し、連携強化に努めました。
- ・介護者教室では、古里住民自治協議会と長沼住民自治協議会と共催し、講演会等を行いました。
- ・介護予防ケアマネジメント事業では、介護保険の認定が要支援1・2の方及び事業対象者（基本チェックリストにより、国の基準に該当した要支援1相当の人）のサービス計画を作成し、自立した生活を目指して支援しました。

相談受付方法と件数

	来所	電話	訪問	その他	合計
勤務時間内	74件	240件	121件	75件	510件
時間外	0件	16件	2件	4件	22件
ケアマネ相談	9件	11件	20件	1件	41件
合計	83件	267件	143件	80件	573件

相談内容と件数

相談内容	件数
介護保険関係	371件
住宅福祉サービス	13件
施設・住まい	25件
医療	15件
高齢者虐待	87件
成年後見制度	9件
苦情対応	4件
その他	49件
合計	573件

ケアプラン作成件数等

予防給付ケアプラン作成件数	111件
総合事業ケアプラン作成件数	125件
総合事業基本チェックリスト実施数	24件
介護予防給付件数	1,516件 うち委託354件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	1,238件 うち委託129件
高齢者実態把握相談支援台帳作成件数	39件
個別地域ケア会議開催回数	3回

主な会議・研修会への出席

会議・研修会	回数
民生委員定例会（古里・長沼・柳原地区ケア会議）	20回
長沼地区地域ケア会議・ネットワーク会議	16回
館内（古里・長沼・柳原地区）ケアマネジャー連絡会（7月・12月）	2回
長野市高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会への出席（社会福祉士）	1回
地域密着型サービス運営調整会議への出席（計11事業所） （ケアライフ柳原・柳原ふれあい荘・グループホーム太陽・グループホームフランセーズ 悠柳原・グループホームながめま・特別養護老人ホーム富竹の里和み、デイサービスねむ の木、エフビー柳原デイサービス・デイサービスふらっと柳原・デイサービスながめま・ 看護小規模多機能あったかホーム柳原）	52回
柳原地区ふくしネットワーク会議（富竹の里主催）	9回
認知症カフェ「宙カフェ」（古里地区住民自治協議会主催）	12回
長沼地区「えんがわ」（長沼地区住民自治協議会主催）	6回
包括支援センターの役割説明会（柳原小学校）	1回
認知症サポーター養成講座（古里・長沼・柳原地区住民自治協議会主催）	4回
古里地区「介護者のつどい」「ふくし大会」（古里地区住民自治協議会主催）	2回
退院支援・在宅移行支援検討ワーキンググループ参加（長野市民病院主催）	2回

介護者教室・介護予防教室

実施日	会議・研修会	参加者数
令和6年 8月 9日	口腔ケア・歯の話	22人
令和6年 8月20日	介護保険や認知症介護について	22人
令和6年11月14日	人生会議についての理解（もしバナゲーム）	18人
令和6年11月 8日	認知症サポート講座	70人

社会と共に持続可能な法人の未来に向けて、

法人が歩んできた38年。

そしてこれからの38年。

私たちは、

ご利用者と共に、地域と共に、

豊かな自然環境を守りながら、

未来を見つめ、

持続可能な社会の実現に向けて、

歩み続けます。

社会福祉法人光仁会富竹の里

発 行 2025年5月

発行責任者 嶋田直人

〒381-0006 長野市大字富竹1621番地

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

<http://tomitake-carenet.com>

